

神女広報

vol.22
2016 Summer
CROSSROADS

「自立心・対話力・創造性」活力あるコミュニケーションで結ぶ学園広報誌



神戸市立須磨離宮公園
「ガーデン・パーティー」



特集

神戸女子大学 開学50周年

- 7 教育研究活動
- 16 トピックス
- 17 地域連携
- 19 インフォメーション



学校法人吉学園

神戸女子大学 神戸女子大学大学院 神戸女子短期大学 神戸女子大学教育センター

神戸女子大学 開学50周年



学校法人行吉学園神戸女子大学は平成28年4月で開学50周年を迎えました。学園創立者である行吉國晴・哉女夫妻が、昭和15(1940)年に、裁縫技術を身につけたい女性や日中戦争下で自立を余儀なくされた女性に洋裁教育を行うことを目的に「神戸新装女学院」を創立したことが神戸女子大学の歴史の始まりです。

その後、女性に教養教育を身につけてほしいという思いから、短期大学制度ができた昭和25(1950)年に神戸女子短期大学が神戸市生田区(現:中央区)に設立されました。そして、神戸女子大学は昭和41(1966)年に学園創立の精神を引き継ぎ、神戸市須磨区に家政学部家政学科58名の第一期生を迎え教育・研究活動をスタートしました。神戸女子大学の誕生の地「須磨キャンパス」で設立から現在まで、変わることなく建学の精神を体現する家政学部を中心に、現在の姿をご紹介します。

建学の精神

本学園の教育は民主的で文化的な国家を建設して世界の平和と人類の福祉に貢献しようとする有為な女性を育成するにある。そのためには人格の完成をめざし平和的な国家および社会の形成者として真理と正義を愛し個人の価値をたつとび勤労と責任を重んじ自主的精神に充ちた心身ともに健康な国民の育成に力をつくすにある。

教育綱領

学術の研究を通して人生社会に対する広い視野と深い洞察とを身につけ識見高く心情豊かな女性を育てる
 個性の伸長をはかり社会に貢献しうる人材を育てる
 勤労を愛し義務と責任を重んじ自律的に行動する態度を養う
 宗教的情操を培い謙虚にして愛情深くよく苦難に耐え常に信念に生きる女性を育てる
 明朗にして礼節あり健康にして柔軟な心身の持ち主となりよく世道を導きうる女性を育てる

開学50周年を迎えて

神戸女子大学 学長 中島 實

神戸女子大学は、昭和41(1966)年4月の開学以来、今年で半世紀となる50周年を迎えました。この間の卒業生は3万人を数えるに至っており、学び舎であるキャンパスも須磨キャンパスとポートアイランドキャンパスにまたがっております。開学当初は1学部1学科でのスタートでしたが、現在は4学部10学科1専攻科、大学院は3研究科7専攻の体制となっています。同時に、これまでの半世紀とは違い、大学を取り巻く環境が一段と厳しくなる中、次の半世紀に向けて神戸女子大学は新たな船出をすることになります。この節目にあたり、心を新たに「女性が活躍する社会」の基盤をなす高等教育機関としての役割を今後も果たすべく尽力していきたいと思っております。



現在の大学組織図

平成28年4月現在、4学部3研究科1専攻科を有する収容定員3,295人の大学となりました。現在までに3万人以上の卒業生を輩出しています。

須磨キャンパス(神戸市須磨区)..... 家政学部、文学部、家政学研究科、文学研究科
 ポートアイランドキャンパス(神戸市中央区)..... 健康福祉学部、看護学部、健康栄養学研究科

学部	家政学部	家政学科	大学院	家政学研究科	博士前期課程	食物栄養学専攻 生活造形学専攻	
		管理栄養士養成課程			博士後期課程	食物栄養学専攻 生活造形学専攻	
	文学部			日本語日本文学科	文学研究科	博士前期課程	日本文学専攻 英文学専攻 日本史学専攻 教育学専攻
				英語英米文学科		博士後期課程	日本文学専攻 英文学専攻 日本史学専攻 教育学専攻
				神戸国際教養学科			健康栄養学研究科
	史学科	教育学科					
	健康福祉学部	社会福祉学科					
	看護学部	健康スポーツ栄養学科					
専攻科	学校教育学専攻科	看護学科					

建学の精神を受け継ぐ「全学共通教養科目」

神戸女子大学では、専門教育以外にも女性の自立に不可欠な幅広い「人間力」「教養」「社会人基礎力」を身につけるため、全学共通教養科目に力を注いでいます。

神戸女子大学は、建学の精神をより分りやすく、21世紀の高等教育にふさわしい表現にするために、建学の精神に基づいた理念・目的・教育目標を表す三つの標語〈自立心・対話力・創造性〉を掲げました。

全学共通教養科目の基幹科目群は、この教育目標を達成するための中心的科目群で、大学での学びの土台としての「基礎」、建学の精神である〈世界の平和と人類の福祉に貢献する有為な女性の育成〉を実践する「女性」、地域との密接な連携を目指した「地域」の三つのジャンルに分かれ、〈自立心・対話力・創造性〉を培う教育を具体的に授業の中で行っています。中でも「基礎I(マイライフ・マイキャリアI)」では、大学生活を意味のあるものにするための第一歩を基礎から学びます。卒業時の理想の姿を描き、タイムマネジメント、自己管理や行動計画作成を通して、4年間で何を学ぶか目標をたて、キャリアマインドの素地を作ることを目標としています。また、この授業では、新入生を対象として前期授業の初期に行吉 誠之理事長が本学の歴史と建学の精神についての講義を行っています。



行吉誠之理事長の講義風景

家政学部の今

創立時の家政学部は、単一の家政学科だけでスタートしました。家政学と栄養学の教育を行い、翌年に栄養士養成施設の指定を受けました。引き続き昭和43年には管理栄養士養成課程の設置が認可され、以後、1学科1課程の構成で教育・研究活動を展開しています。

設立当初から、講義と実験や実習などの実体験を有機的に連携させた専門カリキュラムによって、衣・食・住に関わる分野の専門知識や技能が身につく実践的な教育を行ってきました。

社会に対する視野を広げ、地球環境、健康問題など、人びとの生活に対して鋭敏な感覚や関心をもち、社会に貢献できる人材を育成しています。

卒業生は、ファッションを科学で支える繊維製品品質管理士、快適な住空間を実現するインテリアコーディネーター、医療・福祉機関で、健康を栄養面から支える管理栄養士、家庭科教諭、栄養教諭など多様な分野で活躍しています。

家政学科

人びとの生活に関わるさまざまな事象について教育・研究を行っています。次の3コースから1つを選択し、「衣」や「住」を専門的に学ぶことも、家政学全般を幅広く学ぶこともできます。

被服デザイン 科学コース

被服の材料、デザインや構成、快適性、被服管理、品質管理など繊維・アパレル関連業界のニーズに対応した学びによって、産業界で活躍できる人材を育成しています。講義とともに、実験・実習、CAD演習などにより知識や実践力を育てます。

住空間 コース

全ての人が安心して快適に暮らす社会の実現を目指し、住空間や地域空間について学びます。インテリアデザイン、都市デザイン、インテリアCAD、室内環境学などの住空間について、理論と実践から学び、住宅設備関連・インテリア関連企業で活躍できる人材を育成しています。

生活プロデュース コース

地球環境、資源問題から家庭・家族・地域まで、幅広く、現代生活が抱える課題について探究するとともに、より良い生活のプロデュースを目指しています。また、消費生活科学、生活経営、ライフスタイル、生活文化などの講義とともに、演習科目によって、社会的要請の高いプロジェクト能力の養成を行っています。



繊維材料科学実験の授業

取得できる資格

▶ 中学校教諭一種免許状(家庭)、高等学校教諭一種免許状(家庭)、日本語教員資格、図書館司書、学校図書館司書教諭

家政学科専門科目に 関連のある資格

▶ 繊維製品品質管理士(TES)、消費生活アドバイザー、消費生活専門相談員、インテリアコーディネーター
▶ 商業施設士補、福祉住環境コーディネーター、カラーコーディネーター、キッチンスペシャリスト、リビングスタイリスト
▶ 宅地建物取引主任者資格

学生ピックアップ

神戸市空き家「活用コンペ」入賞

神戸市が中古住宅のイメージアップや空き家の魅力的な活用をアピールするため、平成27年11月から12月に実施した空き家「活用コンペ」で、応募のあった71件の提案から、家政学科の住空間コースで学ぶ3年生(当時)2名による須磨区の高倉台団地を対象とした作品が入選しました。



中島實学長に受賞の報告をする
鳴海かずみさん(右)と宮内芽衣さん



神戸市役所での受賞式で
賞状を受け取る宮内さん(平成28年2月)



提案内容を学内で発表する鳴海さん

優秀賞 鳴海 かずみ「支える人を支える家～介護職員×シェアハウス～」

介護職員を応援するシェアハウスの考え方は興味深く、介護社会の状況を捉え、それを住居により解決しようとする前向きな提案が評価されました。

入賞 宮内 芽衣「おかえりがいつもある家」

子どもたちが集える場所を定年後の夫婦が提供することで、定年後の夫婦の人生を豊かにすると同時に、子どもを支えるアイデアが評価されました。

管理栄養士養成課程

管理栄養士は、人びとの健康課題に対応できる食と健康に関する専門家であり、最近では生活習慣病の発症予防や治療において重要な役割を担っています。

本課程では、講義、実験・実習を通して高度な知識と技能をもった管理栄養士を養成するために、基礎から応用まで幅広い授業を行っています。

「社会・環境と健康」「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」「食べ物と健康」といった専門基礎分野で、核となる基礎知識をしっかりと学びます。そして、「基礎栄養学」「応用栄養学」「臨床栄養学」「公衆栄養学」「給食経営管理論」などの専門分野で専門知識や技術を修得します。

管理栄養士国家試験は、常に高い合格率を保っています。



基礎微生物学実験の授業

管理栄養士国家試験実績(過去5年間)

	第26回 (平成24年)	第27回 (平成25年)	第28回 (平成26年)	第29回 (平成27年)	第30回 (平成28年)
神戸女子大学家政学部管理栄養士養成課程					
受験者数	154	138	171	156	152
合格者数	150	129	164	150	139
合格率	97.4%	93.5%	95.9%	96.2%	91.4%
全国のデータ					
管理栄養士養成課程新卒合格率	91.6%	82.7%	91.2%	95.4%	85.1%

取得できる資格 ▶ 栄養士、管理栄養士国家試験受験資格
 栄養教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状(家庭)、高等学校教諭一種免許状(家庭)
 食品衛生管理者任用資格および食品衛生監視員任用資格(編入生を除く)
 フードスペシャリスト資格認定試験受験資格

学生ピックアップ

企業と共同開発のお弁当

管理栄養士養成課程の後藤 昌弘教授(専門:調理科学)の研究室では、「自分の大切な人に食べてもらいたい健康に気遣ったお弁当」をテーマに生活協同組合コープこうべの関連会社である株式会社コープフーズと大塚食品株式会社のご協力のもと、商品開発に取り組む体験学習を平成25年8月に開始し、現在まで継続中です。8種類で累計52万食以上のお弁当が発売され皆様に召し上がっていただきました。

管理栄養士を目指す学生は、いずれもカロリーが控えめで、栄養バランスの取れた見た目も楽しめるお弁当を考案しました。

卒業生は管理栄養士として、病院、福祉施設、食品関連企業で活躍中です。

株式会社コープフーズのスタッフの皆様からは、材料の原価計算や工場で作る工程を考えたレシピ作りなどで多くの助言と協力をいただきました。



コープフーズからの感謝状を贈られた学生(平成28年3月)



平成25年8月発売第1弾
「がつんと贅沢25品目牛丼弁当」



平成28年2月発売第8弾
「野菜ゴロゴロ和みご飯」

神戸女子大学のあゆみ 創立当時から現在まで

昭和	15年11月	神戸市葺合区(現:中央区)琴緒町5丁目に行吉國晴・行吉哉女が「神戸新装女学院」を設置。行吉哉女が院長に就任	 <p>行吉学園創設者 行吉國晴・哉女夫妻</p>
	25年 4月	神戸女子短期大学服装科開設。行吉哉女、初代学長に就任	
	26年 2月	学校法人行吉学園への変更申請が認可。行吉國晴、初代理事長に就任	
	41年 4月	神戸女子大学家政学部開設。行吉哉女、初代学長に就任	
	44年 4月	神戸女子大学文学部開設	
	48年 4月	神戸女子大学附属高倉台幼稚園開設	
	58年 3月	ハワイ大学マノア校(アメリカ)と姉妹校提携	
	59年 4月	神戸女子大学大学院家政学研究科食物栄養学専攻(修士課程)開設	
	61年 4月	神戸女子大学大学院文学研究科日本文学専攻(修士課程)、英文学専攻(修士課程)、日本史学専攻(修士課程)開設	
	62年 4月	神戸女子大学大学院文学研究科教育学専攻(修士課程)開設	
平成	元年 4月	神戸女子大学大学院文学研究科教育学専攻博士課程(後期)、家政学研究科食物栄養学専攻博士課程(後期)開設	 <p>開設当時の須磨キャンパス</p>
	3年 4月	神戸女子大学大学院文学研究科日本史学専攻博士課程(後期)開設	
	4年 4月	神戸女子大学大学院文学研究科英文学専攻博士課程(後期)開設	
	5年 3月	ケント大学(イギリス)と国際交流協定を締結	
	5年 4月	神戸女子大学大学院文学研究科日本文学専攻博士課程(後期)開設	
	7年 1月	阪神・淡路大震災発生。大学、短期大学、幼稚園の各施設に甚大な被害	
	7年 4月	神戸女子大学大学院家政学研究科生活造形学専攻(修士課程)開設	
	8年 4月	神戸女子大学文学部社会福祉学科開設	
	9年 1月	フライブルク大学(ドイツ)と提携	
	9年 4月	神戸女子大学大学院家政学研究科生活造形学専攻博士課程(後期)開設	
	11年10月	三宮キャンパスを整備し、神戸女子大学教育センターを設置	
	12年 5月	華南師範大学(中国)と友好交流合意書を締結	
	18年 4月	神戸女子大学健康福祉学部健康福祉学科、文学部日本語日本文学科、英語英米文学科改組。神戸国際教養学科開設 ガジャマダ大学(インドネシア)と学術交流協定を締結	 <p>平成28年度入学式 宣誓書の中島實学長に提出する新入生代表</p>
	18年 8月	ピッツァー大学(アメリカ)との間で短期英語研修と7ヶ月の「セメスター&インターンシップ・プログラム」の国際交流協定を締結	
	19年 8月	チェンドラワシ大学(インドネシア)と学術交流協定を締結	
	21年 4月	神戸女子大学健康福祉学部社会福祉学科名称変更、健康スポーツ栄養学科開設	
	22年 1月	ウダヤナ大学(インドネシア)と学術交流協定を締結	
	22年 4月	西安工程大学(中国)と学術交流協定を締結	
	22年 7月	カセサート大学(タイ)と国際交流協定を締結	
	23年 1月	チェンマイ大学(タイ)と国際交流協定を締結	
23年 5月	カリフォルニア州立ポリテクニク大学ポモナ校(アメリカ)と国際交流協定を締結		
23年 9月	ハワイ大学マノア校(アメリカ)との交流30周年記念式典をハワイで開催		
24年 5月	アイルランガ大学(インドネシア)と学術交流協定を締結		
26年 8月	静宜大学(台湾)と国際交流協定を締結		
27年 4月	神戸女子大学看護学部看護学科開設		
28年 4月	神戸女子大学大学院健康栄養学研究科健康栄養学専攻(修士課程)開設		

神戸女子大学は平成18年にポートアイランドキャンパスに健康福祉学部を開設、平成27年4月に看護学部を開設し発展を続けています

須磨キャンパス



ポートアイランドキャンパス



第18回ブルーム展 開催

平成28年1月30日(土)から2月4日(木)までの6日間、神戸市中央区の神戸トア・ギャラリー(TOR GALLERY)において、神戸女子短期大学卒業制作展「第18回 ブルーム展」を開催しました。

ブルーム展は、ゼミや授業で制作した作品を全学科合同で展示する制作展として、毎年開催しています。他学科の学生の作品を一斉に見ることができ、学生たちからも大変好評です。今回は、ウエディングドレスや絵本、手工芸品など約200点ものさまざまな作品が展示されました。

初日に会場で受付を担当した総合生活学科の学生は、ウエディングドレスと住宅模型を制作・出品しました。一年をかけ渾身の力を注いで制作した作品に対して、来場された方々からお褒めいただいた言葉は、学生にとって大きな励みになりました。

「ブルーム(BLOOM)展」の名前には、蕾のような学生たちが一般社会へと旅立ち大輪の花を咲かせるように、との願いもこめられています。学生たちが学んできた集大成といえる作品展は、今年度も開催予定です。



展示されたウエディングドレス



長瀬荘一学長と受付の学生



ウエディングドレスショー 開催

平成28年1月26日(火)神戸女子短期大学ポートアイランドキャンパスにおいて「ウエディングドレスショー」を開催しました。

古田 貴美子講師が担当する総合生活学科・被服製作ゼミでは、学生一人ひとりがウエディングドレスを製作。一年をかけてデザインの考案、生地選びから縫製まで行い完成させます。その集大成として、毎年ウエディングドレスショーを行っています。今回は12名の学生が参加しました。



ショーの後、全員で記念撮影

ショーでは、自作のドレスを身に纏った学生たちが教員のエスコートで登場。清楚な純白ドレスや、たくさんのバラをあしらった華やかなドレス、ブルーやピンクの生地を使用した色とりどりのドレスなど、それぞれの思いの詰まった優雅なドレスに、集まった大勢の学生や教職員からは感嘆の声と共に多くの拍手が贈られました。

これらのドレスは、卒業制作展「ブルーム展」にて展示されました。





古典芸能研究センターからの お知らせ



公開研究会「説経節—情念の語り物—」

神戸女子大学古典芸能研究センターは、平成27年11月28日(土)に公開研究会「説経節—情念の語り物—」を開催し、約150名の参加者を迎える盛況となりました。

この公開研究会は、平成25年度文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に採択された古典芸能研究センターの研究プロジェクト「日本古典芸能の横断的総合的研究拠点の形成」の一環として開催したものです。

午前中は、講演が二つ並びました。最初は、大谷大学名誉教授 沙加戸 弘氏の「絵解きと説教—



真宗寺院における教化の展開」でした。沙加戸氏は、真宗教団において「説教」がどのように成立し変遷したかを話され、最後に近年まで活躍していた名人の節談説教を聞かせてくださいました。

続く神戸女子大学名誉教授 阪口 弘之氏の講演「語り物としての説経—栄華循環の神仏利生譚」では、「説経は神仏と人間の、命の更新(死と再生)の物語」であるという新しい視点を提唱され、「さんせう太夫」「松浦さよひめ」「かるかや」を実例に解説しました。

午後は、4名の研究者による研究発表が行われました。説経節の基層となる唱導説話、奈良絵本・奈良絵巻となった説経の様相、近世における説教者のあり方、現代に残る説経浄瑠璃の紹介など、各専門家が、説経についてそれぞれの角度から焦点をあてた内容が続きました。

参加者は講演や研究発表を終始熱心に聴講していました。2階の展示室では、公開研究会にあわせて、企画展「説経「おぐり」の世界—説経節の広がり—」を開催しました。古典芸能研究センター所蔵の志水文庫から、説経のテキストである正本



早稲田大学文学部
和田修准教授

や説経「おぐり」を基にして展開された浄瑠璃や歌舞伎の資料、「おぐり」の世界に大きく関わる仏画などを展示しました。休憩時間などには多くの来室者が熱心に資料を見学していました。



神戸女子大学名誉教授 阪口弘之
古典芸能研究センター特別客員研究員



国文学研究資料館教授 小林健二
古典芸能研究センター客員研究員

古典芸能研究センターでは、この公開研究会に先んじて、神戸女子大学・神戸女子短期大学オープンカレッジ秋期講座において「説経節—人は神仏に何を托そうとするのか—」と題する全6回の特別講座を開講し、好評を得ていました(平成27年10月14日(水)から11月18日(水))。そのため、今回の参加者は研究者だけに留まらず、説経節に関心をもつ一般の方も多く見受けられました。この公開研究会を通して、さまざまな参加者がそれぞれの立場で「説経節」という語り物に思いを馳せることができた一日だったのではないのでしょうか。



なお、この公開研究会の内容は、研究プロジェクトの成果刊行物として今年度に公刊の予定です。

企画展「ワキ方福王流の謡と歴史—江崎家旧蔵資料を中心に—」



平成28年2月15日(月)から3月31日(木)の期間、企画展「ワキ方福王流の謡と歴史—江崎家旧蔵資料を中心に—」を開催しました。

平成27年度、古典芸能研究センターでは、姫路在住で能楽の福王流ワキ方を代々つとめる江崎家から、約800点にのぼる資料を受贈しました。ワキ方に所属する能楽師は、かつては、シテ(主人公)の相手役であるワキをつとめるだけでなく、謡の指南を行うなど謡文化を担う重要な役も果たしてきました。江崎家の資料にも謡指南に関連する資料が多く含まれています。

この企画展では、ワキ方福王流の謡や歴史について、新収の江崎家旧蔵資料を中心に、センター所蔵のコレクションから、伊藤正義文庫の福王流関係資料や橘文庫の舞台写真も併せて展示しました。



沼州雨画「梅若万三郎翁三老女記念画帖」より「関寺小町」(昭和14年)

神戸女子大学古典芸能研究センター編

『能面を科学する：世界の仮面と演劇』平成28年3月刊行

平成26年度に開催した国際研究集会「見つめる能面・能面を見つめる」の成果を纏めた古典芸能研究センター編『能面を科学する：世界の仮面と演劇』が、平成28年3月に勉誠出版株式会社から刊行されました(本体価格4,200円)。研究プロジェクト「日本古典芸能の横断的総合的研究拠点の形成」(平成25年度文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」採択)の初めての成果刊行物です。



平成28年度 科学研究費助成事業採択状況

平成28年度の科学研究費助成事業について、本学園の採択件数は大学37件(継続25件、新規12件)、短期大学1件(新規1件)でした。科学研究費助成事業は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までの「学術研究」を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」です。独創的・先駆的な研究であるかの審査を経て採択された研究に対して助成が行われます。

平成28年6月現在

研究種目	研究代表者	研究課題名
基盤研究(B)	家政学部・教授 砂本 文彦	日本統治期朝鮮の貸家と都市構造に関する研究
基盤研究(C)	文学部・教授 森 尚也	ベケット作品／草稿におけるテキストと図：ライブニッツ的組み合わせ術と存在論の研究
基盤研究(C)	家政学部・教授 狩野 百合子	エキストラバージンオリーブ油の食習慣に基づいた複合的栄養機能の解析
基盤研究(C)	文学部・教授 永瀬 朋枝	全集未収資料集の作成による藤村研究の再構築
基盤研究(C)	文学部・准教授 久野 和子	「場としての図書館」の統合的研究：日本の新しい21世紀型図書館パラダイムの提唱
基盤研究(C)	文学部・教授 狩野 恭	8-10世紀インドにおける主宰神論争史研究
基盤研究(C)	文学部・教授 山内 晋次	火薬原料の国際流通からみた前近代の日本とユーラシア
基盤研究(C)	文学部・教授 松下 孝昭	日露戦後における軍隊の立地と遊廓をめぐる都市地域社会
基盤研究(C)	文学部・教授 今井 修平	播磨国小藩領における地域社会構造の歴史的研究
基盤研究(C)	看護学部・准教授 田村 康子	モロッコにおける助産師を対象とした産痛緩和ケア教育プログラムの効果に関する研究
基盤研究(C)	家政学部・教授 置村 康彦	分岐鎖アミノ酸の筋萎縮抑制作用の基盤を形成する成長ホルモンの役割
基盤研究(C)	文学部・非常勤講師 李 春子	東アジアの「水」を巡る「伝統の森」の文化の資料化
基盤研究(C)	家政学部・教授 栗原 伸公	昆布摂取および昆布と酢同時摂取による高血圧予防メカニズム
基盤研究(C)	文学部・准教授 橋本(松木) 礼子	方言の推量表現に関する文法記述的研究
基盤研究(C)	文学部・教授 吉村(森本) 真美	イギリス帝国と近代日本一帝國的諸事業・思想の越境的伝搬と展開
基盤研究(C)	健康福祉学部・教授 泉 妙子	介護の可視化 介護技能分析表の作成と暗黙知管理ツールの開発
基盤研究(C)	文学部・准教授 小原 依子	リハビリテーション病院における音楽療法の効果判定と技法開発のための実践的研究
基盤研究(C)	家政学部・教授 山根 千弘	コットンギャップを埋める再生セルロースの構造設計と制御
基盤研究(C)	看護学部・教授 東 ますみ	糖尿病患者に対するセルフレギュレーションに基づく遠隔看護の有用性
基盤研究(C)	看護学部・教授 玉木 敦子	地域母子保健における周産期うつ病の予防的介入に関する研究
基盤研究(C)	家政学部・准教授 木村 万里子	いんげん豆類に含まれる高機能性オリゴ糖の探索とその構造解析
基盤研究(C)	健康福祉学部・助教 糸井 亜弥	児童の身体活動量、16～20年後の変化(都市部・農村部の同一小学校における調査)
基盤研究(C)	文学部・教授 田中 美紀子	カントの批判哲学から晩年の思想への発展—『オプス・ポストウム』の全訳に向けて
基盤研究(C)	文学部・教授 安原 順子	日本語教員養成と日本語学習者のため双方向学習プログラムの研究
基盤研究(C)	健康福祉学部・教授 植戸 貴子	中高年知的障害者と高齢の親の同居家族への相談支援：障害分野と高齢分野の有機的連携
基盤研究(C)	健康福祉学部・教授 小笠原 慶彰	近代神戸において社会事業の展開に寄与した人物に関する研究
基盤研究(C)	健康福祉学部・准教授 佐藤 晋子	特別支援学校における摂食・嚥下障害を有する児童・生徒に対する給食整備に関する研究
基盤研究(C)	看護学部・講師 馬場 敦子	外来通院中の高齢糖尿病患者のフレイルを改善・予防するマネジメントプログラムの開発
基盤研究(C)	看護学部・教授 下敷領 須美子	短期母乳栄養を選択したHTLV-1陽性妊産婦への訪問助産師による継続支援の開発
基盤研究(C)	看護学部・教授 藤田 冬子	介護者のためのエンハンスメント・プログラム活用による在宅療養支援
基盤研究(C)	幼児教育学科・准教授 畠山 由佳子	子ども虐待ケースに対する区分対応システムでの支援型対応実践モデルの開発的研究
挑戦的萌芽研究	看護学部・教授 横内 光子	システムシミュレーションを用いた病院防災ベストプラクティスに関する基礎的研究
挑戦的萌芽研究	文学部・教授 野口 和美	米国の保健外交政策における民間財団の影響に関する研究
挑戦的萌芽研究	健康福祉学部・准教授 清水 弥生	認知症の人の生活ニーズを中心とした生活支援モデルの構築
挑戦的萌芽研究	家政学部・教授 砂本 文彦	農地転用メカニズムとしてみた軍港都市の形成と地域社会の応答に関する研究
研究活動スタート支援	看護学部・講師 丸山 有希	小中学校におけるいじめ発作リスクがある児の疫学と発作対応、健康管理の現状と課題
研究活動スタート支援	看護学部・講師 元木 絵美	薬物療法を受けている関節リウマチ患者のアドヒアランスを促進するケアモデルの開発
研究活動スタート支援	看護学部・講師 福山 敦子	アウトリーチ支援により重度の精神障がい者の回復過程を支える看護の役割に関する研究

※ゴシック文字は今年度新規採択(13件)

科学研究費助成事業に採択された研究紹介

全集未収資料集の作成による
藤村研究の再構築

神戸女子大学文学部 日本語日本文学科 教授 永瀨 朋枝



大学院授業風景

「藤村」は、「名も知らぬ遠き島より流れ寄る椰子の実一つ」などの詩や、『破戒』『夜明け前』などの小説を書いた島崎藤村です。現在、藤村の文章を一番多く収めているのは、『藤村全集』（筑摩書房 昭和41～46年刊行）全十八巻です。ここに入っていない藤村の文章を見つけて集め、そこから藤村を考え直すことが研究の目的です。

たとえば、幼い子どもたちを残して妻が死去し、藤村は、手伝いに来ていた姪を妊娠させてしまい、フランスへ行きます。そして帰国後、姪とのことを『東京朝日新聞』に連載小説『新生』として発表します（前編：大正7年、後編：大正8年）。

作品の中に主人公が、作品発表によって社会的に葬られるのではないかと躊躇し、大学で受け持っていた講座も遠慮して断り、引き籠って謹慎の意をあらわしていた、と書いてあります。

けれども、この頃藤村は、『大阪朝日新聞』『中央文学』『新愛知』『中外』の応募作品の選者をつとめていました。選者をつとめたことは、作品には書かれておらず、『藤村全集』にも入っていません。選者は、社会的に抹殺されそうな作家ではなく、社会的に認められた作家になるものでしょう。『新生』発表の頃、藤村は謹慎していた、というのは、『新生』にそう書いてあるから、そのように思わせられていた面が強いのかもかもしれません。『新生』の読み方だけでなく、作品と作家像についての考えも変わってきます。

また、上記のうち『大阪朝日新聞』では、内田魯庵・幸田露伴・島崎藤村の三人が選者でした（「懸賞小説当選」大正6年12月13日朝刊）。三人がつけた点数は順に、一等「明ゆく路」90・85・71、二等「宿命」99・83・63、選外の「返らぬ過去」35・70・95、「泥道」40・60・85、「魔はれし人々」25・68・90でした。こんなに点差が開くことは珍しいのですが、近代文学の懸賞や文学賞とは何なのか、ということも考えさせられます。

全集未収資料によって、藤村だけでなくさまざまなことを明らかにできればと思います。



島崎藤村の全集未収資料の一部

神戸女子大学 平成28年3月卒業生の国家試験の結果について

第30回 管理栄養士国家試験	受験者数	合格者数	合格率
神戸女子大学	152	139	91.4%
管理栄養士養成課程(新卒)	9,015	7,673	85.1%
全国合計	19,086	8,538	44.7%
第18回 精神保健福祉士国家試験	受験者数	合格者数	合格率
神戸女子大学	5	4	80.0%
保健福祉系大学等(新卒)	1,813	1,344	74.1%
全国合計	7,173	4,417	61.6%
第28回 社会福祉士国家試験	受験者数	合格者数	合格率
神戸女子大学	47	29	61.7%
福祉系大学等(新卒)	9,441	4,436	47.0%
全国合計	44,764	11,735	26.2%

学位取得者及び学位論文(概要)

平成27年度 博士学位取得者 博士論文概要

平成27年度は、神戸女子大学大学院家政学研究所 食物栄養学専攻に以下の2名から学位論文が提出され、博士(食物栄養学)の学位が授与されました。

平成28年3月16日 今井 里佳氏(課程博士)、森元 直美氏(論文博士)



<課程博士>

今井 里佳 (指導教員:竹中 優教授)

論文題目:「Transgenic mice overexpressing glia maturation factor- β , an oxidative stress inducible gene, show premature aging due to Zmpste24 down-regulation (Glia maturation factor- β を過剰発現させたマウスは、Zmpste24 mRNA合成量の低下に起因した老化促進を示す)」

脳神経特異的因子glia maturation factor- β (GMF)は、蛋白尿刺激により腎近位尿細管に異所性に発現誘導される。本論文では、異所性GMF発現が及ぼす影響について検討を行うことを目的とした。GMFを全身に強制発現させた遺伝子改変マウス(GMF-TG)はヒトの老化と類似した表現型が認められ、短命であった。早老症は、ラミンA(核膜の裏打ちタンパク質)の異常によって引き起こされることが明らかとなっている。GMF-TGの外観は、ラミンAの

異常を伴う早老症マウスと類似していた。故に、GMF-TGにおけるラミンA発現について解析を行った。ラミンAは前駆体であるプレラミンAが、プロテアーゼ(Zmpste24)により切断され生成される。GMF-TGではZmpste24発現量が低下し、異常ラミンAの蓄積が認められた。これらの結果より、GMF-TGはラミンAの異常を伴う早老症マウスと類似した病態をもつ、新規の老化促進モデルマウスである可能性が示された。



<論文博士>

森元 直美 (指導教員:瀬口 正晴教授)

論文題目:「Breadmaking Properties of Frozen-and-Thawed Bread Dough (冷凍ドウの製パン性低下の原因と多糖類による製パン性改良の可能性について)」

長時間かかる製パン工程を短縮し、パン職人の労働環境改善のため、パン生地を冷凍貯蔵する方法が開発された。しかし、製パン性(パン高、比容積)の低下から、その技術の利用はパン生産量全体の7%(食品需給センター、2014)にすぎない。本研究は製パン性低下の原因を調べ、それに基づいた改良方法を見出すことを目的とした。

まず、冷凍による製パン性低下とドウから抽出される遊離液体量を調べ、これらの間に高い負の相関があることを示した。次に製パン工程中の3か所に冷凍・解凍工程を挟みこんだ3種類のドウの製パン試験から、製パン性低下は、加工の工程(発酵や成形)後の冷凍によって起こること

がわかった。さらにこの製パン性の低下するドウに、新たに砂糖とイーストを添加し、1次発酵、成形、2次発酵を行うと製パン性が回復した。これらのことから、製パン性低下の原因は、冷凍中におこるドウ中の水分の移動により、製パン性に必要な部分への水の欠如であることが明らかになった。そこで、水の移動を抑制することによる製パン性改良方法を考えた。13種類の多糖類による製パン試験を行った結果、guar gum, xanthan gum, tamarind seed gumといった吸水性の高い多糖類の利用は有効であった。

本研究により、冷凍ドウの製パン性低下の原因が明らかになり、製パン性改良方法の一つとして多糖類の利用の有効性が示された。

健康栄養学研究科 健康栄養学専攻(修士課程)誕生



健康栄養学研究科第一期生と研究科長の吉川豊教授

神戸女子大学大学院健康栄養学研究科 健康栄養学専攻(修士課程)が平成28年4月からポートアイランドキャンパスに開設されました。

健康福祉学部健康スポーツ栄養学科を基礎とし、健康維持・健康増進・介護予防などの「食(栄養)」について、「運動(スポーツ)」「福祉」の要素も含めて、研究・教育します。

研究科 専攻名称:健康栄養学研究科 健康栄養学専攻(修士課程)

学 位:修士(健康栄養学)

入学定員:4名

収容定員:8名

開 設 日:平成28年4月1日

家政学研究科 食物栄養学専攻 研究に励む大学院生紹介 研究助成も獲得

「食」と「健康」の観点から研究を進め専門家を育成する神戸女子大学大学院家政学研究科 食物栄養学専攻の博士前期課程と博士後期課程に在籍する大学院生が研究助成を獲得し研究に励んでいます。

丸山 紗季さん

- 神戸女子大学大学院
家政学研究科食物栄養学専攻 博士前期課程
- 平成28年度笹川科学研究助成《学術研究部門》
研究課題:「海藻と食酢の同時摂取による腎血管性高血圧(2K1C)モデルラットの血圧上昇抑制効果とその機序の検討」

瀬川 悠紀子さん

- 神戸女子大学大学院
家政学研究科食物栄養学専攻 博士後期課程
- 第22回 うま味研究会研究助成 研究分野「うま味に関する応用研究」(食品科学、栄養学、臨床生理学など)
研究課題:「昆布うまみ成分が腎血管性高血圧モデルラットの血圧および血管作動性ホルモンに与える影響」

丸山 紗季さんは、学部の卒業論文作成で昆布と食酢の同時摂取が高血圧抑制に効果があることを研究していく中で、自らの手で食材の効用を見つける楽しさを実感しました。そして、大学院に進学して研究を続けることを決意し、現在は昆布に加え、褐藻(わかめ、もずく)にも同様の効果があるかどうかについても研究を行っています。

瀬川 悠紀子さんは、博士前期課程でトウガラシに最も多く含まれる辛味成分のカプサイシンが高血圧を抑制する働きがあることを調べ、高血圧自然発症モデルラットにおいてそのメカニズムを探る研究で平成26年度笹川科学研究助成を受けました。今回はうまみを利用した日本の食文化に着目し、昆布、および昆布だしによる血圧上昇抑制効果のメカニズムを解明する研究に取り組み、二度目の研究助成を受けることになりました。

二人は栗原 伸公教授の研究室でともに高血圧予防や治療につながる知見を得ることを目指して、海藻のもつ効用を研究し、充実した学生生活を続けています。実験では、期待した結果がでない事もしばしばありますが、予想通りの実験データが得られ仮説が証明できたときの達成感は素晴らしく、新たに研究に挑む意欲も湧いてくるようです。

二人の研究は、ユネスコ無形文化遺産に登録された和食を推進しつつ、高血圧の予防や治療の一助となることも期待できます。



実験中の丸山紗季さん



実験中の瀬川悠紀子さん



実験で協力中



1983年	ハワイ大学(米国)	2010年	ウダヤナ大学(インドネシア)
1993年	ケント大学(英国)	2010年	西安工程大学(中国)
1997年	フライブルク大学(独国)	2010年	カセサート大学(タイ)
2000年	華南師範大学(中国)	2010年	高麗大学(韓国)
2006年	ガジャマダ大学(インドネシア)	2011年	チェンマイ大学(タイ)
2006年	オークランド工科大学(ニュージーランド)	2011年	カリフォルニア州立ポリテクニク大学ポモナ校(米国)
2006年	ピッツァー大学(米国)	2012年	アイルランガ大学(インドネシア)
2007年	チェンドラワシ大学(インドネシア)	2014年	静宜大学(台湾)

ドイツ ホーエン・フロイデンシュタット病院の医師と臨床栄養士による特別講演会

神戸女子大学健康福祉学部 健康スポーツ栄養学科は、健康づくりやスポーツ選手に必要な栄養学をはじめ、世界的な視野で食文化や日々の食生活や運動不足からくる生活習慣病の予防についても教育・研究を続けています。

平成28年1月7日(木)・8日(金)に、「国際健康福祉プログラムII」の臨床栄養・健康福祉研修等を行っているドイツ ホーエン・フロイデンシュタット病院のベルティル・クルーテ (Bertil Kluthe) 博士と同病院の臨床栄養士カリナ・ゲベレ (Karina Gebele) 氏を講師にお招きし、同学科の学生を主な対象に特別講演会を開催しました。



ベルティル・クルーテ博士
ホーエン・フロイデンシュタット病院
専門医、医長、
神戸女子大学客員教授

演題: 「“メタボリックシンドローム”への世界的、学術的挑戦について」

通訳: 山下 俊介教授(7日)、梶原 苗美教授(8日)

クルーテ博士は、最初にメタボリックシンドロームの定義や肥満率の増加が世界的傾向にあること、肥満と糖尿病の相互関係、メタボリックシンドロームの人が、血管系疾患になるリスクが高いことなどを講義しました。

治療としては、運動や食事療法が最も効果的で、同病院における運動・食事療法を紹介しました。

学生は、配付された糖尿病健康チェックシートを博士の指示で各自記入し、普段の食事や運動で気をつけるポイントを確認するなど、自分自身の健康管理にも意識が高まりました。



カリナ・ゲベレ氏
同病院 臨床栄養士

演題: 「糖尿病治療における“ダウン2・スタディ”結果の利用と解説」

通訳: 松本 衣代准教授(8日)

ゲベレ氏は、2型糖尿病患者の栄養指導だけでなく、患者自身やその家族も精神的に支える治療の重要性を説きました。世界各国の糖尿病患者とその家族が生活で感じるストレスの内容を詳細なデータを提示し説明しました。

お二人の講演の終了後は、学生が肥満率の高い国の原因やドイツのカロリーの計算方法を質問して大変有意義な講演会となりました。



「国際健康福祉プログラムII」の研修を
行吉誠之理事長に報告する両氏と担当の梶原苗美教授



ロータリアン同士のバナー交換をする
行吉理事長とクルーテ博士

また、クルーテ博士とゲベレ氏は行吉 誠之理事長を表敬訪問し、学生たちの研修の様子を報告しました。博士がロータリークラブの会員でもあることから、今回の表敬訪問の目的のひとつでもあった行吉理事長とロータリアン同士のバナーの交換も行われました。

第11回 英語演劇鑑賞の夕べ ウィリアム・シェイクスピア作「テンペスト」公演

平成28年5月17日(火)神戸女子大学須磨キャンパス体育文化ホールにおいて、インターナショナル・シアター・カンパニー・ロンドン(International Theatre Company London 以下ITCL)によるウィリアム・シェイクスピア作「テンペスト」が上演されました。

ITCLの公演は、地域連携活動の一環として毎年開催し、今回は11回目の公演です。シェイクスピアの最晩年の作品でロマンス劇のひとつ、「和解」と「赦し」がテーマとなった感銘深い作品を約550名の観客が鑑賞しました。

少人数の出演者が複数の役を演じ、卓越した演技に、歌とコミカルな台詞もまじえた舞台は、終始観客を魅了しました。

公演に当たっては、文学部英語英米文学科の学生が中心になり、受付、会場案内、アナウンス、インターバルでの飲み物・スナック販売などの運営をしています。

上演前には、同学科を代表し4年生の池ノ上 栞理さんが日本語と英語で挨拶を行いました。お客様の中には外国人の方も多く、オープニングを飾るものでもあり緊張を伴いましたが、発音、イントネーションの練習を数週間前から毎日行い、見事に大役を果たしました。

この行事に参加した学生はITCLの俳優やスタッフの方と交流する機会もあり、生きた英語を学ぶこともできました。シェイクスピアの作品への興味や理解が深まり、幅広い教養を身につける一助ともなっています。



上演前に記念写真



受付の様子



オープニングの挨拶をする池ノ上栞理さん

身近な国際協力 フェアトレードを広める取り組み

5月の世界フェアトレード月間にあわせ、神戸女子大学須磨キャンパスでは、平成28年5月13日(金)から20日(金)の期間に、同好会「nicoloop」(以下ニコループ)と学園直営のベーカリーカフェ「marberg」(以下マーベル)が共同企画で、フェアトレードのチョコレートを使用したパンとコーヒーを販売し、フェアトレードの説明や活動内容を展示し啓蒙活動を行いました。

この企画には、イオントップバリュ株式会社から無料のチョコレートを提供していただきました。

マーベルの職員がこの企画のために特別に作った4種類のパンは、価格が通常より低く設定されたこともあり、連日完売するなど身近な人にフェアトレードに関心をもってもらうことができました。ニコループの学生はフェアトレードの推進をはじめ国際協力に関係した活動を継続して企画していこうと意気込んでいます。

また、同社の有本 幸泰様には、文学部神戸国際教養学科の2年生約30名が受講する「国際協力・援助政策論」(担当:野口 和美教授)の授業で、フェアトレードについての講義をしていただきました。受講学生は、フェアトレードの製品を購入することで、国際協力や援助ができることを学びました。

フェアトレード(Fair Trade)は、公正な貿易を行い、発展途上国で作られた作物や製品を適正な価格で継続的に取引することによって、持続的に生産者の生活を改善し、地位の向上と自立を目指す仕組み。



同好会「nicoloop」のメンバーと顧問の野口和美教授(右)



フェアトレードのチョコレートを使ったパン
後列右から時計回りにマーブルパン、クリームチーズのタルト風パン、スコーン、パイ



フェアトレードコーヒーを使ったコーヒーフロート

神戸女子短期大学の学生が日本ビジネス実務学会 近畿ブロック研究会の「学生プレゼンテーション大会」で最優秀賞を受賞

平成28年2月14日(日)日本ビジネス実務学会 近畿ブロック研究会主催「学生プレゼンテーション大会」において、神戸女子短期大学総合生活学科1年生(当時)の足立 優奈さんが最優秀賞に輝きました。

「クラブ活動での取り組み - 苦手な英語を大好きに-」という題名で、プレゼンテーションと質疑応答を各5分間行い、ESSクラブに入学した目的や活動の紹介、英語を使いこなすことで広がる将来の夢について発表しました。

足立さんは、イギリスのビスケットやクッキーが、おしゃれでかわいらしい箱や包装で発売されていることに惹かれ、自分も海外で食品のパッケージをデザインする仕事に就きたいと考えています。さらに、高校時代の茶道部で好きになった和菓子の素晴らしさも外国の人に伝えたいという目標があります。そのために日頃から語学力を磨くだけでなく、プレゼンテーションの能力も必要だと考え福井 愛美教授の「プレゼンテーション演習」を履修しました。

大会に向けて、原稿の推敲を重ねリハーサルを繰り返しました。本番は大学教員が聴衆で最初は緊張しましたが、しだいに楽しみながらプレゼンテーションを行う余裕ででき、練習の成果を十分に発揮し最優秀賞を受賞することができました。

夢を実現させるため、2年生ではゼミでも英語と英語圏の文化を勉強し、対話も高めるよう努力し充実した日々を送っています。



表彰状を持つ足立優奈さんと「プレゼンテーション演習」担当の福井愛美教授



学生プレゼンテーション大会で発表する足立優奈さん

管理栄養士養成課程の学生

平成27年度専門フードスペシャリスト資格認定試験 成績優秀で表彰される

平成27年12月20日(日)に実施された公益社団法人日本フードスペシャリスト協会の「専門フードスペシャリスト(食品流通・サービス)資格認定試験」(注)において、神戸女子大学家政学部 管理栄養士養成課程3年生(当時)の稲見 真理さんが、特に優秀な成績で合格した者数名に贈られる最優秀賞を受賞しました。

稲見さんは、管理栄養士の資格をもった家庭科の教諭を目指しています。家庭科は、「衣・食・住」を始め、育児、高齢者の介護、社会保障に至るまで生涯にわたり人の生活の営みと密接にかかわる科目です。「食」と「栄養」の専門的な分野に精通し幅広い知識をもつ教員になりたいと、稲見さんは思いフードスペシャリストの資格を取ることを決意。1年生の時から過去の問題を解き試験の準備を始めました。この資格認定試験の勉強は専門分野の学習にも役立ち、食品の流通、マーケティング、食卓のコーディネイト、マナーなどの知識を身につけることができました。

現在は、教員採用試験、管理栄養士国家試験の合格を目指し日々、勉学に励んでいます。

(注) 資格取得には、同協会の正会員の大学・短期大学で「フードスペシャリスト養成機関」として認定された特定の学科で所定の科目を履修し、試験に合格すれば卒業時に資格認定証が交付される。従来のフードスペシャリストから、より高い専門的な知識と技能を備えていると認定するために平成26年度から、専門フードスペシャリスト(食品開発)資格と専門フードスペシャリスト(食品流通・サービス)資格の認定試験が行われている。



学習中の稲見真理さん



稲見さんの受賞を祝う中島實学長(中央)とフードスペシャリスト委員会の教員(右から清水典子准教授、後藤昌弘教授、林利恵子准教授)



キャンパス・パーク 連携10周年記念ローズ・フェスタ開催



参加の学生と教職員で記念撮影



ローズシャワーの様子

平成28年5月15日(日)神戸市立須磨離宮公園において、「神戸女子大学音楽祭 ローズ・フェスタ10TH ANNIVERSARY -Party! Party! Party!」を開催しました。

今年で神戸女子大学と神戸市立須磨離宮公園はキャンパス・パーク連携締結10周年を迎え、例年、秋に行っているローズ・フェスタをバラの花が一番美しい季節に移して開催しました。

学生は日ごろの練習の成果を発揮した演奏・演技を披露し、ステージと客席が一体となるパフォーマンスもあり、大いに盛り上がりました。毎年恒例となったパン研究会の手作りパン(ローズhippベリーパン、抹茶あんぱん)も配布され、今回も大変好評でした。

また、学生が考案したクイズに挑戦しながらバラ園を探検するワークショップ「ローズ・ワード・パズル～白ウサギを探せ～」では、本学のオリジナル「ローズ・カタログ」を参加者にプレゼントしました。

プログラムの最後は、ダンス同好会の合図とともに、来場者と学生と一緒にローズシャワーを行い、青空に舞うバラの花びらのシャワーと10周年を祝う歓声により閉会となりました。

ローズ・フェスタの企画・運営は、本学のローズ・フェスタ実行委員で

ある地域連携推進委員会と「地域学習」履修学生によって行われ、同公園の関係者の皆様にも多大なご協力をいただきました。出演した学生、運営を支えた学生のいずれにも、学びの多い記念すべき地域貢献活動となりました。

「生誕100年 ターシャ・テューダー展」に出品協力

神戸女子短期大学図書館では、建学の精神に基づき、短期大学全学科(総合生活学科、食物栄養学科、幼児教育学科)の学生がそれぞれの学びに役だつコレクションとして、アメリカの絵本作家ターシャ・テューダー(1915-2008)の初版本、原画などを資料収集しています。

平成27年はターシャの生誕100年にあたり、同年3月から東京を始めとしてNHKサービスセンター主催の特別展が開催され、本学からは所蔵の原書約50点を出品協力しています。

この企画展は平成29年3月まで全国各地を巡回予定です(注)。

「楽しみは作り出せるもの」というターシャの人生を楽しむポリシーに触れ、心温まる時間をお楽しみください。

(注)日程等はNHKサービスセンター Webサイトのイベント情報を参照してください。



生誕100年企画展のポスター
あべのハルカス近鉄本店
平成28年3月8日(火)～21日(月)開催
(NHKサービスセンター提供)



平成28年度生田祭 女子神輿(みこし)奉仕

平成28年4月16日(土)神戸市中央区の生田神社の生田祭において、神戸女子大学、神戸女子短期大学の学生75名と教職員4名が一般の参加者17名とともに、女子神輿に奉仕しました。

生田祭は11地区に分割された氏子地域が、輪番制で神輿を担ぎ、御神幸(おわたり)をする春の例祭です。

本年は宮元地区(生田神社周辺)が奉仕当番となり、当地区のみ女子神輿が担がれます。神戸女子大学、神戸女子短期大学の母体である行吉学園の発祥の地(現在は三宮キャンパス)は、同地区に位置しており率先して参加しました。

当日はよい天気恵まれ、同神社の紋である八重桜をあしらった法被姿で、約4.5キロにわたり馴染み深い界隈を地域の安全と繁栄を願いながら、約300キロもある神輿を担ぎ巡幸しました。

神輿を一番高い位置に持ち上げ、かけ声とともに息を合わせて一気に頭上へと放り上げ手のひらで受けとめる動作の度に、沿道の観衆から大きな拍手が沸き起こりました。

巡幸路には坂道もあり、かなりの負担になりましたが、最後まで元気一杯に「わっしょいわっしょい!」と声をかけながら神輿を担ぎ、清々しい気持ちで一連の神事を終えることができました。

学生たちは、伝統文化に触れ、仲間との連帯感や達成感、指揮者をはじめ支えてくださった関係者の皆様への感謝の心を抱きつつ、貴重な経験と思い出をつくることができました。



桜門を出る様子



神輿を頭上高く放り上げる場面



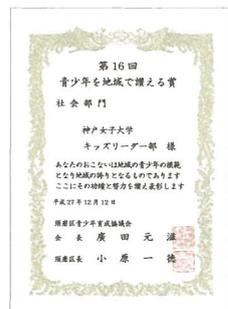
拝殿前での記念写真

神戸女子大学キッズリーダー部「青少年を地域で讃える賞」を受賞

平成27年12月12日(土)神戸市須磨区の区役所において「第16回青少年を地域で讃える賞」(注)の表彰式が行われ、神戸女子大学のキッズリーダー部が社会部門で表彰されました。

同部は神戸女子大学が設立されて間もない昭和48年に「幼児運動研究会」として発足しました。一般社団法人神戸フットボールクラブのボランティアとして就学前の子どもたちにボールで楽しく遊ばせることを主な活動としていました。昭和62年には、地域の子どもたちにお姉さん的な存在として遊びを楽しく指導することを目指し「キッズリーダー部」とクラブ名を変更し再出発しました。

地域の児童館や兵庫県立子ども病院で、クリスマス会など子どもが喜ぶイベント活動を長年続けてきたことが評価されました。



(注) 青少年を地域で讃える賞: 神戸市須磨区青少年協議会が須磨区内の青少年で、社会、スポーツ、文化等の各分野で活躍する者を他の青少年の範として讃え表彰するもの。

学園からのお知らせ

○平成28年春の叙勲受章者

4月29日(金)に平成28年春の受章者が発表され、行吉学園関係者では神戸女子大学前学長の波田 重熙名誉教授が次のとおり受章されました。

瑞宝中綬章 波田 重熙 神戸女子大学名誉教授

○兵庫県知事表彰の受賞について

神戸女子大学文学部史学科 今井 修平教授が兵庫県功労者(教育功労)として知事表彰を受け、5月18日(水)に兵庫県公館において表彰式が執り行われました。

また、神戸女子短期大学 長瀬 莊一学長が栄養士養成功労者として兵庫県知事表彰を受け、5月28日(土)にポートピアホテルにおいて表彰式が執り行われました。

○ポートアイランドキャンパスで学習支援サービス開始

須磨キャンパスに続き、ポートアイランドキャンパスでも基礎科目(国語、数学、化学)の個別学習支援サービスが始まりました。苦手意識の克服や基本から再度学びたい、学力アップを目指したいという学生はもちろん、国家試験や就職試験に必要な筆記試験の自己学習対策など、専任の講師に相談し丁寧な指導や助言を受けることができます。

○学生消防団員 神戸市須磨区 優良団員表彰

平成28年3月13日(日)に举行された神戸市須磨区防災表彰式で、神戸女子大学文学部教育学科4年生(当時)の神野 美穂さんが地域防災への貢献により優良団員として表彰されました。

神野さんは2年生から消防団に入団し、3年間、地域の防災活動や啓蒙活動に積極的に参加しました。

また、大学で行なわれた防火・防災訓練、阪神・淡路大震災の追悼行事でも指導的な役割を果たし、後輩の在学消防団員のリーダー的な存在でした。



神野美穂さんと青木啓司前神戸市須磨消防署長

○名誉教授称号授与式

平成28年6月24日(金)に神戸ポートピアホテル「和楽の間」において神戸女子大学と神戸女子短期大学の名誉教授の称号授与式が举行されました。

式典では、大学 中島 實学長、短期大学 長瀬 莊一学長から、先生方へ「名誉教授称号記」ならびに「名誉教授証」が授与されました。記念写真撮影後は和やかに懇談が行われました。

神戸女子大学

河田 千代乃先生

『古事記』研究で優れた業績を上げる。日本神話、神社信仰、古代から中世の日本女性史についての研究が注目される。民俗学、伝統芸能の教育・研究にも従事し成果を上げた。

三保 忠夫先生

日本語助数詞の歴史的研究、日本放鷹文化資料研究などにおいて優れた業績を上げる。高山寺の経蔵典籍・文書総合調査団の一員として調査・研究・公刊等に従事。平成21年4月から2年間文学研究科日本文学専攻主任。

土江 節子先生

臨床栄養管理・栄養指導の教育・研究に従事。食事療法指導の第一人者として、特に糖尿病患者の食事についての研究で優れた成果を上げる。幼児の食品嗜好、食習慣の分析を行い食育に関する研究も注目される。

神戸女子短期大学

武藤 美也子先生

日本語表現、日本文学の教育・研究に従事。神戸女子大学古典芸能研究センター客員研究員。沖縄祭祀の研究で優れた業績を上げ、沖縄祭祀資料のデータベースを構築。平成14年4月から4年間図書館長、平成18年4月から2年間総合生活学科学科長。



名誉教授称号授与式において記念撮影

Information

行事日程

7月

2	土		学内編入学試験
5	火		すいか祭り
18	月	海の日	祝日授業日
22	金		<須磨キャンパス>前期授業終了
23	土		オープンキャンパス
25	月		<短大>前期定期試験期間開始(8月10日まで)
29	金		<PIキャンパス>前期授業終了

11月

3	木	文化の日	公募制推薦入試前期AB、神女ファミリー入試、公募制自己推薦入試
5	土		指定校特別推薦入試、社会人特別入試
11	金	創立記念日	学園祭準備
12	土		学園祭(13日まで)
23	水	勤労感謝の日	祝日授業日

8月

6	土		オープンキャンパス(7日まで)
10	水		<大学・短大>補講期間終了
11	木	山の日	
13	土		全学一斉休業(16日まで)
20	土		オープンキャンパス
24	水		<短大>前期定期試験結果、追・再試験発表

12月

11	日		公募制推薦入試後期
22	木		<大学・短大>年内授業最終日
23	金	天皇誕生日	
27	火		<須磨キャンパス>補講期間終了
29	木		全学一斉休業(1月3日まで)

9月

1	木		<短大>前期追・再試験(6日まで) <大学>前期科目最終成績発表
11	日		オープンキャンパス
19	月	敬老の日	
22	木	秋分の日	
23	金		<大学・短大>後期授業開始

1月

1	日	元旦	
5	木		後期授業再開
9	月	成人の日	
14	土		大学入試センター試験(15日まで)
17	火		阪神・淡路大震災 鎮魂の日
20	金		一般入試前期A
21	土		一般入試前期B
27	金		<須磨キャンパス>後期授業終了
28	土		<短大>ブルーム展(2月2日まで)
30	月		<短大>後期定期試験期間開始

10月

10	月	体育の日	祝日授業日
15	土		<大学>一般編入学試験
22	土		<須磨キャンパス>学校教育学専攻科入試(一次)



表紙写真

ガーデン・パーティー

神戸市立須磨離宮公園 園長 山村 治

Garden Party

ガーデン・パーティーは、1959年アメリカのHerbert C. Swimが、歴史的な名花ピースを親に交配して作出したバラで、淡い黄(クリーム)色にピンク色がほのかに混ざるハイブリッド・ティー系(大輪咲き)の品種です。フランス・パリ市のバガテル公園で1907年から開催されているバガテル・バラ新品種国際コンクールで金賞を受賞(1959年)。100回以上の歴史を数える、この世界最初のバラの新品種コンクールは、世界中の育種家が競う登竜門として世界的権威のあるものです。パステル調の彩りを身にまとい、かすかに甘い香りをたたえるガーデン・パーティーは、まるで園遊会に招待された貴婦人のようです。その気品ある優雅さに、同じく親のシャーロット・アームストロングの強さを受け継いだガーデン・パーティーは両親に決してひけをとらない名花にふさわしいバラです。清々しさや爽やかさが若さの象徴といえるなら、このバラにはまさに洗練のひとことがよく似合います。



編集後記

記念になる日をお祝いした経験は、どなたでもあるのではないのでしょうか。

今回の「神女広報 CROSSROADS vol.22」は、神戸女子大学開学50周年を特集とし、神戸市立須磨離宮公園とのキャンパス・パーク連携締結10周年記念行事、学園創立当初より緑の深い生田神社の生田祭で女子神輿に奉仕したことなど記念すべき年に関する記事を掲載しました。

記念日は、日常生活を積み重ね、1年、10年、50年と年月が経過したことに気がつき、区切りのイベントを行うことで、過去を振り返り、始まりを思い出し、未来に向け力強く前進しようという気持ちを喚起するために必要なものなのかもしれません。

神戸女子大学、神戸女子短期大学が、さまざまな記念日を迎え、学園の成長していく姿をこれからも広報誌で皆様にお届けしてまいります。

本誌の発行にご協力いただきました関係者の皆様に深く感謝し厚く御礼を申し上げます。

(M.O)

神女広報
CROSSROADS

編集・発行 学校法人行吉学園 学園企画部 学園広報課
〒650-0046 神戸市中央区港島中町4-7-2
TEL:078-303-4790 FAX:078-303-4857
ホームページアドレス <http://www.yg.kobe-wu.ac.jp/>
E-メールアドレス gakuenkoho@yg.kobe-wu.ac.jp

※「神女広報」へのご意見、お問い合わせなどお寄せください。